

DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers



つうしん

Vol.210 (令和4年11月)

今年は、カタールのドーハでサッカーワールドカップが開催され、素晴らしい試合の数々に胸が熱くなりましたが、リバーキーパーズの皆さまはいかがでしたか？日本代表と森保監督には、「興奮と感動をありがとう！」と伝えたいです。また、現地に行ったサポーターたちの試合後の清掃活動は、世界各国のメディアに取り上げられ、絶賛されていましたが、是非ともその心を土器川でも発揮して、美しい自然を守っていただきたいですね。

今月号は、「出前講座の開講」「魚類調査」「合同現地調査」「源流碑清掃」についてお知らせいたします。



○善通寺市立中央小学校 出前講座の開講

11月22日(火)に、善通寺市立中央小学校の児童37名を対象とした出前講座を開講しました。児童たちは、学校で川の模型を活用した実験を行い、川における水的作用(侵食・堆積)について学んでいました。今回の出前講座では、その集大成として、実際に川ではどのようなことが起きているのか、災害対策では河川管理者がどのようなことを実施しているのかについて、土器川下流(JR橋梁から潮止堰付近)を見学し、体感しました。

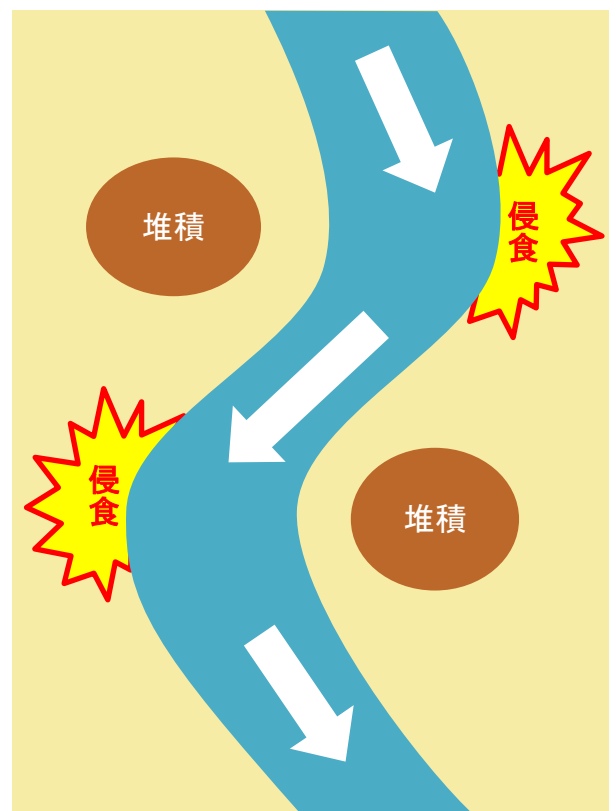


出前講座

一般に水は高い所から低い方へ流れ、傾斜が急なほどまっすぐ流れます。急流河川である土器川の水は、まっすぐ流れ、湾曲部で堤防を侵食しながら曲がります(右図)。そのため、堤防などを保護するため、重さ400kgほどある石を積み重ねた護岸工事を行っています。また、水が曲がる際、内側の流速が遅くなり、上流から流れてきた土砂が内側に堆積します。堆積した土砂により、水が流れにくくなるため、この堆積した土砂を取り除く河道掘削工事も行っています。

土器川で実際に河川に触れながら、少しでも興味を持っていただけるよう、これからも出前講座などによる河川の防災教育に尽力していきます。

川の侵食と堆積のイメージ図



○生物公園の魚類調査 ～ 土器川生物公園に生息する生き物は？ ～

11月18日(金)に土器川生物公園の魚類等調査を行いました。本調査は、平成5年度より丸亀市等と協働活動を開始した土器川生物研究会が水と緑豊かな「ふるさとの川づくり」及び環境学習を推進することを目的に、毎年行っています。今年も、公園内のひょうたん池など9カ所において、モンドリ※1やマイビキ※2等を使い、メダカやドンコなどの生息を確認しました。

今後とも、土器川の生物がよりよい環境で生息できるよう、河川環境の保全に努めてまいります。

※1:魚などが入りやすく、出にくい構造を持つ魚罟

※2:釣り上げた魚または網に入った魚をすくい取る漁具
すくい網、たも網ともいう



魚類調査の様子

○土器川合同現地調査 ～ 先輩方の技術力を継承 ～

11月22日(火)に、国土交通省を退職された先輩方と合同で祓川橋から直轄上流端までの現地調査を行いました。先輩方から土器川の事業にまつわる話や巡視の際に見るべきポイント、修繕箇所の対応策などについて、実際に現地を見ながら現役の職員に分かりやすく伝えていただきました。

これからも先輩方から伝えていただいた知識や経験を活かし、安全で安心できる川づくりを目指していきます。



巡視の様子

○土器川の源流碑清掃 ～ 土器川源流を美しく守り続けるために ～

11月8日(火)に四国地方公益活動推進会議と協働で、「土器川源流の清掃活動」を行いました。土器川の源流を美しく守るという情熱を持った有志が集まり、「土器川源流碑」(平成15年11月建立)の周囲に繁茂した葎など、夏の間大きく成長した草木を取り除きました。取り除いた草木の量は、軽トラック約3台分もあり、土器川の美しい源流を取り戻すことができました。今後も土器川の美しい源流を守っていきけるよう清掃活動を続けていきます。



清掃活動の様子



記念撮影

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1619(工務第一課直通) FAX:087-821-1713

